



FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第105号 (2020)

<http://www.ffiisaitama.com/>

新型コロナウイルスのもたらしたもの

会長 原田 史

今年の春は思いもよらない「自粛」の日々を送ることになってしまいました。埼玉クラブは3月30日からの Greater Cincinnati 受け入れを手始めに5月に Greater Kiev に渡航、10月には Central Iowa を受け入れの予定と、忙しい日々を過ごすはずでした。

ところが2月29日のワールドフレンドシップデーで、東京外語大・中澤名誉教授のウクライナの講演をお聞きしたのを最後として、全ての活動は中止・延期の連続。皆様はその後、如何お過ごしですか。

2020年の出だしは順調で、1月26日(日)に年次総会を with you で開催。大熊議長のもとで、全議案が審議され、拍手をもって承認されました。その後のル・ソレイユ・ルヴァンでの会食は楽しいひと時を過ごせたと大層、好評でした。コロナの影が忍び寄っていなかった平和な時代でしたね。



FFI は journey のキャンセルの嵐にもみくちやにされ、ただでさえ厳しい財政状態が危機に瀕してしまいました。埼玉クラブも寄付をいたします。以後の1~2年は現状を乗り切り、明るい未来を取り返すための日々として、皆様、がんばってまいりましょう。

日本の他クラブから寄付の情報や、今、未来に向けて頑張ろうとしていることなど伝えてこられます。FFJとして頼もしいですね。



2020年度総会報告

日時 2020年1月26日(日) 10:20~11:50

会場 with you さいたま 4F 第1会議室

会員61名及び議決権を有する家族会員1名の内、出席者数27名、委任状23名で総会は成立した。

また会える日まで

グレイター・シンシナティ受入れ HC 西村 純枝

印刷直前!!
出来上がった素晴らしい冊子



グレイターシンシナティクラブ受入れ(20名)が3月30日~4月6日でスタートするはずだった。しかしコロナの急速な拡大により3月5日に双方合意でキャンセル(含む延期)となった。

2018年6月16名で渡航し、心からの

歓迎を受けた。ただただ楽しく、まるでそう大人の修学旅行のようだったという印象だ。その懐かしい方々との再会を楽しみに準備してきたがその後の世界の状況を見れば、今回のキャンセルは必然だった。

一週間のプログラムもみんなで頑張った。会場予約、バスの手配、着付け、お花、お習字、東京ツアー、さいたまツアーの算段、何回も校正を繰り返し、印刷依頼直前だった冊子などみんな大事な時間を割きアンバサダーの喜ぶ顔が見たい一心で準備したのだ。3月15日最後のホストに向けたワークショップはついに幻に終わった。あ〜。

この渡航には27名の応募ありと聞き、充実した2年前の交換が数字に表れたと確信。しかし今の埼玉クラブで受入れ上限は、20名。60からのメンバーがいても生身の会員の状況は流動的なのだ。どうにか20にと願う中、先輩会員をはじめ、送り迎えを申し出るデイホストなど連帯を感じるホストクルートであった。

無観客野球!「全員野球」がちょっとだけ無理をしながら立派に機能したのではないだろうか。筋肉を落とさずにバトンを繋ぐことができるだろう。急遽交代 HC として戸惑ったが、どのボールを投げてもみんながおまけつきで返してくれた。そのことに感謝感激雨霰。

2018年 Cincinnati 渡航アルバム



ディナーホスト宅



American Picnic



Kentucky 側から見た対岸の Cincinnati



焼マシュマロ



クルーズ船で Thanks Dinner



毎日豪華な朝食

Greater Kiev Journey は道半ば

三好 紀子

新米ACになった私の思いは、「何もわからない。聞くしかない！」でした。高堂綾さん、丸山由喜雄さんも初めてのAACです。準備会に駆けつけてくれた西村介延さんと原田史会長に、FFI交流ポリシーとガイドラインの大事な部分を解説してもらい、読み込み、少し理解し、やるべきことを書き出し、互いの役割分担を決めました。

旅行代理店の選定と提案された案の検討を高堂さんと西村さんが担い、FFI や Kiev Club に送付する書類の準備と回収、完成を丸山さんが担当しました。私は Kiev Club HC のターニャさんとの連絡、RSM 金元さんと原田会長への相談・報告担当です。ターニャさんの簡潔で要を得た英文メールを参加者とともに読みながら、ロシア・ウクライナの緊迫した情勢下にある Kiev Club 理解も一部進みました。早々に頂戴したプログラム案の解説(ウクライナ語名称の英語版)もなかなか面白いものでしたが、今後参加者と研究する余地がいっぱいあります。

3 回の準備会で積極的にプレゼンターになってくだ



さった方々、会計その他の役割を進んで受けてくれる頼もしいメンバー、ウクライナ語・日本語の翻訳機能をスマホに確保して大丈夫かなという気分になったところに、COVID-19 の影が忍び寄ってきました。2 月 29 日 World Friendship Day の「遠くて近い国—ウクライナ」の講義で期待がさらに膨らんだところで、渡航断念の決定をしなければならないほど、日本の、世界のコロナ禍の先行きは暗いものでした。しかし美しく歴史ある都キエフを安心して訪れたいとの 20 名の思いは確固としたものになっています。



マトリョーシカ人形



ターニャさん

3 月 1 日 Kiev クラブ FF Day Meeting に三好さんが Skype で参加。しかし残念なことに渡航中止を告げた日でもある。この顔合わせがより一層の友情を深めた。

World Friendship Day

郡山 育子

2月29日
With you さいたま

まさか目に見えぬ解りにくい感染症新型コロナウイルスの蔓延を防ぎ切れず恐慌の中での私達の FFI 創立43周年を迎えることになりました。この日「遠くて近い国ウクライナ」と題する中澤英彦 東京外語大学名誉教授の講演のみとなり30名の仲間と共に楽しみました。

ウクライナを夢み、下調べの結果公共の場で何気に気易く声をかけられても馴々しい態度をしてはならぬ、この部分私は弱いなあ、危ないなあ。更に続く、つい軽い気持ちでこちらの情報を提供するような会話をしてはならぬ、親切行為をしてはならぬ。それはウクライナの国民性が穏やか且つ親切、故に外国人は犯罪に巻き込まれる確率が高いという事だ。チョッと緊張するなあ。

ところがである。如何にも穏やかで学者肌の中澤教授はウクライナ愛に溢れ終始笑顔で心豊かな気持ちにしてくれました。中澤夫人のサポートも献身的さは見事なもので、美しい街・建造物など沢山大きな写真を拝見させて頂きウクライナへの情熱が深く感じられました。素敵なお夫婦でした。そして中澤教授はおっしゃいました。ある国を別の国の視点から見ると、美醜が裏表になっており愕然とすることがあります。今回、醜の部分在意図的に省いたため要旨不明な点多かったと存じますと閉じられました。落ち着いたら皆さんで行こう。

担当の皆様ありがとうございました。



2019.11.28 参加者24名
桜木公民館調理室にて

11月イベント New Caledonia 家庭料理へのお誘い

仏領ニューカレドニア・ヌメア渡航で教わったそば粉のクレープに少しアレンジを加えたガレット、パプリカ・ピーマンのパン、米と茸のタルトの3品を実習した。

美味しくて簡単に作れる彩りあざやかなパプリカ・ピーマンのパウンド型パンのレシピを紹介します。

材料

①薄力粉 150g ベーキングパウダー小 1/2
塩一つまみ 砂糖 50g / 全卵 2個 ヨーグルト
50g / 無塩バター70g (1cm角冷蔵)
②パプリカ赤・黄 各 50g ピーマン 20g 玉
葱 40g 細かく刻み、炒めて塩コショウで調
味

作り方

- ① 指を使ってバターをすりつぶしながら粉類と混ぜ合わせ冷蔵しておく
- ② 卵とヨーグルトを合わせ混ぜて冷蔵しておく
- ③ ②に ①を加え混ぜる
- ④ 次に①の粉類を加え混ぜ、パウンド型に入れる
- ⑤ 200℃15分その後180℃20分 オープンで焼く



より良い広報紙とクラブ運営を目指して



総会時に広報より、広報紙について皆さんがどのように思っているのかを伺った。

年に3回の発行で、皆さんに主に受け入れ時や渡航時の感想、イベントに参加した時の感想などを、なるべく順番に書いていただいている。現在、広報委員は5人で、それぞれの得意分野を担当している。過去には一人の方が責任をもって発行していたり、理事が原稿を集めて手刷りで発行したりの歴史がある。

総会参加者の皆さんに手元に届いた FRIENDS という名の広報紙を毎回きちんと読んでいたところ、皆さん楽しく読んでくださっていたので広報委員としては嬉しい限りだ。また、要望として

① 渡航の際の参加者名や相手クラブとの細かいスケジュールなどを掲載してもらえると、渡航できない会員にももっと興味を持って読める。

② 書き手が決まってくるのを避けるためにも、次回から会員を順次紹介するコーナーを設けてほしい。書くのが苦手な方にはインタビュー形式でも。

③ 細かな情報提供をして欲しい。
などが上がった。

来年度には広報紙の役割を理解し興味のある方にはぜひ広報委員になっていただき、より良い広報紙づくりに参画していただきたいと一同、切に願っている。

また、議事終了後にクラブ運営に関する活発な意見

交換が行われた。主な意見としては

◆最近では受け入れ時のホストや交換委員が固定化してきている。ベテランは次のリーダーを養成し次回につなげるようにしていくことが望ましい。また、ホストの負担軽減のためにももっとデイホストの充実を図ってほしい。

◆日本大会や世界大会に興味があるが、気後れして参加できない。声掛けしてリードしてくれる方がいると、参加しやすいと思う。

◆渡航をしたいが家庭の都合でホームホストができないので、渡航を躊躇してしまう。この意見には、ある方から、その分受け入れの際にデイホストやできる限りのお手伝いをしている。そういった努力をして渡航をしている、との意見があった。

会員の高齢化の波も避けられず、工夫を凝らし助け合ってクラブをささえましょう。

総会の時には思いがけずに久方ぶりにお目にかかる方もいらして、それも楽しみの一つでもある。今回は講演会や懇談会の代わりに新年会が開催され、ブリランテ階下のレストランでおいしい食事をいただきながら、同席の皆さんと近況報告や旅行や趣味のなどおしゃべりを楽しんだ。

(広報記)



会員お喋りコーナー

60歳からの青春

阿部 峰子

仕事と子育てで追われた人生、それはそれで充実した日々でしたが、私の夢はクルーズで世界一周をすることでした。その夢が叶い、夫や子供たちに見送られ夢を達する事が出来ました。ところがそれ以上の楽しみが待っていたのです。

クルーズでは私が経験したことのない方々が大勢いました。海外の山や日本の山を制覇なさった方、また海外の海をダイビングした方、海外で暮らしていた方、カヌーの試合に出ている方、ボランティアに私財や経験をなげうつ方、世界100カ国以上を巡った方、そんな方達と出会い凄いカルチャーショックを受けました。船を降りてからその方達との深い交流が始まりました。

私の経験したことは、まずは日本三霊山(富士山・白山・立山)に登れた事、その後も花や紅葉の綺麗な山々に登らせてもらいました。川ではカヌーやフットイング、海ではダイビングやパラセーリング等様々なアクティビティを経験することが出来ました。

自分の楽しみだけではなく、様々なボランティアをなさっている方から学び、カンボジアの教育里親になって、3人目です。私が趣味としている家庭菜園での経験を基に畑を作り、野菜を育てる事を教えたりもしてきました。

71歳になった今、海外には100カ国以上の国々を訪れ、苗木を植えたり、文房具や楽器などの寄付、交流もしてきました。

新型コロナウイルスで苦しんでいる方がたくさんいる事で胸が痛み、また私も罹らないように気を

付けています。新型コロナウイルスが収まりましたら、また元気なうちはボランティア活動をしていきたいと思っています。



私の初めての渡航体験

池田 尚子

1996年6月アメリカの Madison (Wisconsin州) が私の最初の渡航です。今迄よそのお宅に一人で泊まったことがなく、その上アメリカ人のお宅。緊張と不安がいっぱいでしたので一番印象に残っている体験です。

FFのハンドブックに「家族同様にさりげなく受け入れるのが何よりのおもてなし」と書かれているように、すぐに私を家族の一員として迎えていただきほっとしたことを今でも覚えています。滞在中は、受験勉強で覚えた単語を何とかひねり出しながらの会話でしたが、彼女が私の言いたいことをすぐ理解してくださったので助かりました。お話し好きであったのも気持ちがとてもほぐれました。

芝生に座ってのんびりお喋りし、日常行っている活動に連れて行ってくださったので生活そのものを体験出来ました。普段の生活を垣間見たかんじです。私の求めていたことでしたので本当に良い経験でした。

最近では、「年のせい」か昔のように日常生活の中で、のんびりしたエクステンジが懐かしく思い出されます。



2017年 ドイツ フェールル渡航

新型コロナウイルス禍

岡田 一夫



2月中旬の受け入れ準備会の段階で、誰が今回のような人類未経験の新型ウイルスの急速且つ広範囲な全世界的流行を想像したでしょうか。

その結果、世界中で年内の交換がすべてキャンセルとなり、来年の世界大会までが中止に追い込まれてしまったことは、誠に残念なことです。

我が家でも5年ぶりの受け入れが決まり、ケンタッキー州在住のジム・メアリー・ミラー夫妻との文通が始まりました。送ってきた絵はがきの絵柄は、まさにフォスターの

「スワニー・リバー」や「草競馬」を思い起こさせる風景で、大都会に住む我々でも「住めば都」になりそうな環境下での生活が、とてもうらやましく感じました。

日本訪問が初めてという夫妻も、当クラブとの交流や地方都市での観光など、すべての計画が流れ、残念極まりないとはいえ、近い将来の訪問を楽しみにしているようです。

ところで私事ですが、不要不急の外出自粛のもと、地元高齢者対象の週1回の「元気体操会」や「健康マージャン会」などの集まりも早くて5月中頃までは休会。途端に運動不足気味になりましたので、散歩の回数を増やしました。井の頭公園に咲く花が、ツバキや梅→ヒガンザクラ→ソメイヨシノ→八重桜に代わるのを見て季節の移ろいを感じ、近隣に咲くボタン・ツツジ・ハナミズキ・チューリップなどの花を愛でながらウォーキングしつつ、今回のウイルス禍の早期終息を願っている毎日です。



FF と共に 20 年

沼 純子

私が FF に入ったのは 2001 年、当時は浦和に住んでいましたが、FF 会員だったラボっ子のお母さんが「沼さんにぴったり」とすすめてくれたのです。私がラボパーティのチューターとして子供の国際教育に携わったり、学校で海外語学研修や留学生の世話をしたりしていたからでしょう。

入会后間もなく、二人のドイツ女性のデイホストを頼まれて都内の浜離宮などを案内した時の興奮は今も鮮明に覚えています。以来、渡航・受入れと FF にすっぽりと浸っていつの間にか 20 年がすぎました。最近は夫婦共に年をとり、渡航は難しくなりましたが、世界の各地にいる友達とすごした思い出は、私にとってかけがえのない宝といえます。

家にいることが多い昨今、アメリカ、ニュージーランドなどからコロナの影響を案じるメールが届きます。これまでお世話になったホストファミリーや我が家にス

テイしたあの人この人を思い浮かべ懐かしさが込み上げてきます。遠く離れていても互いに心の中でつながっていることをしみじみ感じます。

FF は今、交換が次々キャンセルになり、大きな打撃を受けています。でもこの Pandemic が終息し、笑顔で新しい出会いや交流を楽しめる日が近く訪れると信じています。



2018 年 New Zealand 語学研修 Kapiti Coast にて

今年もFFS とどんな関わり方をして行こう

浜島 なつみ

未来を思い巡らせていた 1 月の食事会。その時分とは裏腹に世界が一変した年となりました。日頃外界に飛び回って活動されているメンバーさまにおかれましては、自粛々と交流を制限せざるを得ない日々に窮屈な心持ちなのだろうとお察し致します。

コロナが起因で著名人が逝去し、いつもの日常が当然の様に続くものではないと告げています。誰かとの関係も有限なのだ。だからこそ関係を雑にも丁寧にも扱えるのではないのでしょうか。

私が FFS、そして広報部へ参加したのが 2015 年、早くも 5 年が経ちます。人生経験豊富な皆さんに出会えて、自身の未来に光が差した気持ちを覚えています。仕事との両立で微々たる活力しか今は注げませんが、いつか渡航へも参加できる事を夢にそして握手できる距離でまたお会いできることを楽しみにしております。

次の旅へ人生の相方をお探しの方はご相談伺っております、お気軽にお声かけ下さい。

今後ともよろしく願いいたします。



2018 国際友好フェア 姪と参加



私の世界をめぐるピースボートの旅

白倉 恵美子

FFでは数年ほど前からお世話になっています。ピースボートでめぐった世界の国々を紹介します。

◆2005 年、放送大学の卒業記念に、ピースボート 49 船旅乗船(104 日間・5 月～8 月・56 歳の時)

アジアからスエズ運河を通り地中海へ。特に印象的なのはヨルダンのパレスチナ難民キャンプにホームステイ 2 泊したこと。カイロのピラミッド・ギリシャ神殿・スペイン



のサグラダファミリア・パリでエッフェル塔、ルーブル美術館やオルセー美術館、セーヌ川下りを楽しむ。北欧からニューヨークへ。国連を訪問。パナマ運河を経てアラスカから帰港。

◆ピースボート

93 船旅(104 日間・12 月～3 月・68 歳の時)

アフリカから南米へ。アマゾン川の舟下りを体験・イースター島から南太平洋をへて帰港。特に印象的なのは南極に上陸したこと。

◆70 歳で家裁退任後、ピースボート 99 船旅(108 日間・9 月～12 月)

ヨーロッパ&カリブ海コースへ。地中海、アドリア海沿岸の国々をめぐる。特に印象的なのはポーランドで 5 日間、アウシュビッツ収容所などを訪問したこと。アイスランド沖ではオーロラ鑑賞 4 日間・ニューヨークのブロードウェイ・中米ハバナからパナマ運河通航・アマゾン川付近の市内見学・グアテマラでマヤ遺跡見学・ホノルルを経て帰港。

下船後はまた、家裁の参与員として後見監督の仕事をして。75 歳まで続けるつもりです。

昨年はFF埼玉の皆様とイギリスの方々に着物の着付けをお手伝いでき嬉しかったです。お料理教室も楽しみです。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

Donation**FFIへ緊急支援を!!**

FF 埼玉口座への個人寄付締切は 15 日ですが、
FFJ は 5 月 20 日まで下記口座で受け付けています。

郵貯口座**00240-5-36764****ザ・フレンドシップ・フォース活動支援日本委員会****5 月 1 日現在会員数 57 名****広報メンバー大募集!!**

コロナ禍影響が収束
しない時、広報発行
は 105 号を持って年
内休刊予定。

会報誌面作り、パソコン等に興味のある方ぜひご連絡
ください。 nak-kato@msb.biglobe.ne.jp 加藤

会員お喋りコーナー

全会員参加型新コーナーへの原稿を毎回 4~5 名の方々に
下記要領で依頼します。ご協力をお願いします。

- 全会員対象 ■ 字数 100~500 字 ■ 希望によりインタビュー形式可
- 内容 近況 趣味 雑感 FF への希望 受入渡航で感じた事またその後の交流等
FF に関係有るなし自由 写真も OK
- スペースによっては次回掲載になる場合もある

キャンセルとなった FF 埼玉関係スケジュール

- 受入 3 月 Cincinnati 延期・10 月 Iowa 中止 ■ 6 月 27 日 関東ブロック会議 来年に延期
- 渡航 5 月 Kiev 延期 ■ 10 月 4・5 日 日本大会熊本 来年に延期
- 5 月 3・4 日 国際友好フェア 中止 ■ 2021 年 2 月 台湾世界大会 延期

訃報 ヌメアクラブ会長マリエメさんが 3 月お亡くなりになりました。16 年 6 月埼玉クラブへ来訪。昨年 9 月渡航時の HC として、大きな体の肝っ玉母さんといった風貌で私たちを温かく迎え入れてくれた姿が思い出されます。ご冥福をお祈りいたします。

今後の予定 施設使用不可の場合、理事会は 10 時から在宅にて LINE グループで開催

6 月 21 日(日)	10:00	第 6 回理事会	シーノ 7F 講座室 1
	午後		シーノ 7F 講座室 2
7 月 19 日(日)	10:00	第 7 回理事会	シーノ 7F 講座室 1
	午後		シーノ 9F 学習室 1

編集・発行 ザ・フレンドシップ・フォース・オブ埼玉 事務局
〒363-0026 桶川市上日出谷 138 Tel : 048-786-5598

ホームページ <http://fsaitama.com/>
発行日 : 2020 年 5 月 15 日